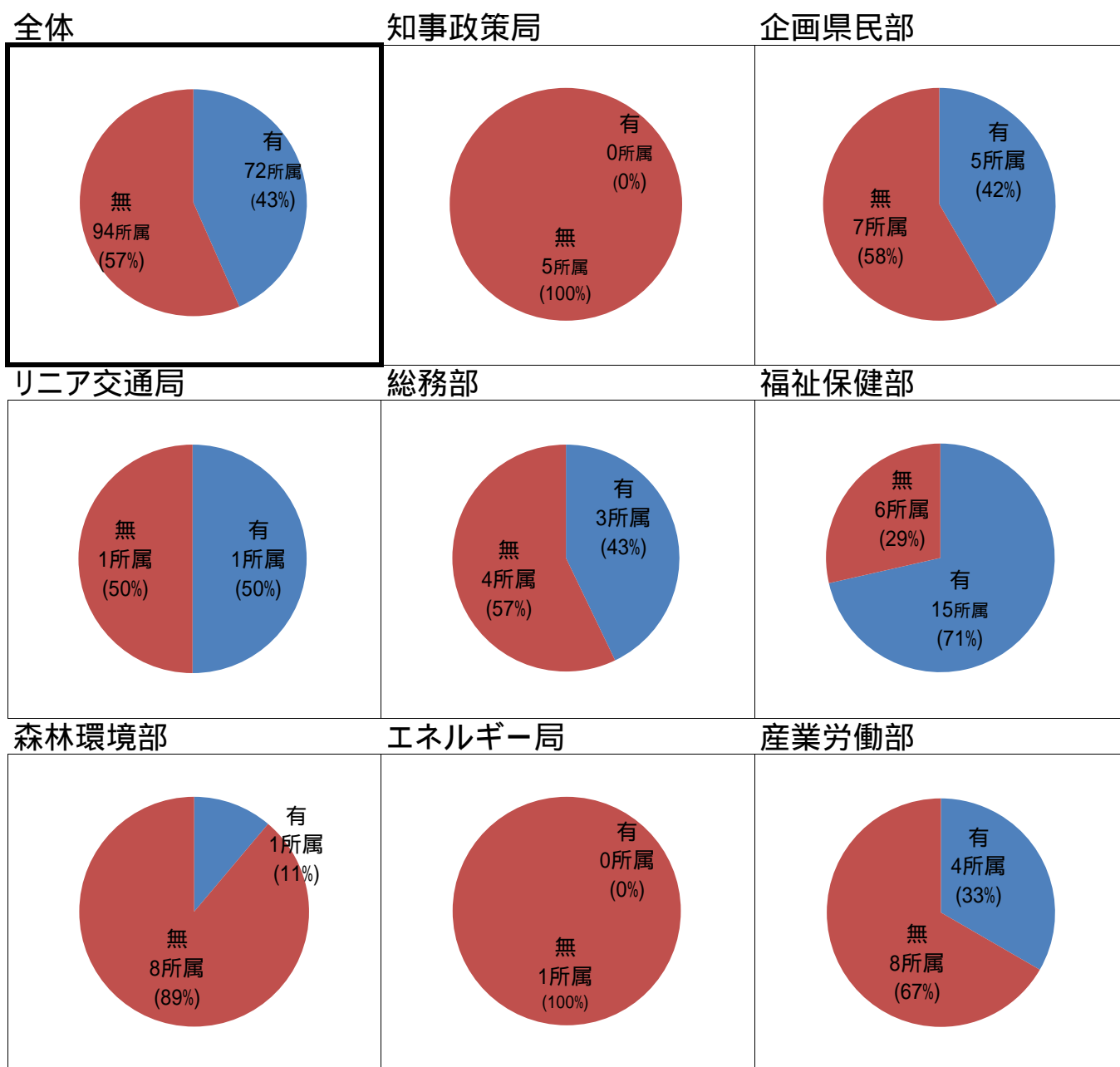


県組織における障害者に対する合理的配慮の提供等の状況について

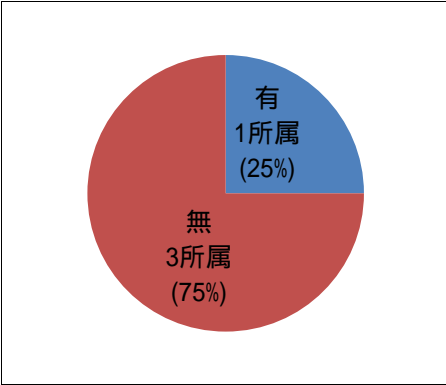
- 1 調査日 平成27年11月25日から同年12月4日まで
- 2 調査対象 全所属(警察を除く)
- 3 回答状況 166所属 / 215所属中 (回答率:77.2%)

(1) 障害者等と関係する業務の有無

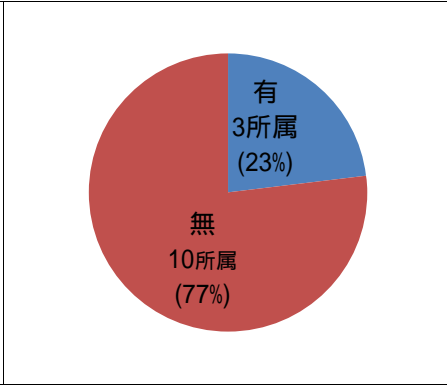
各所属の業務において、障害者やその家族、障害者団体等と関係する業務があるか、確認した。



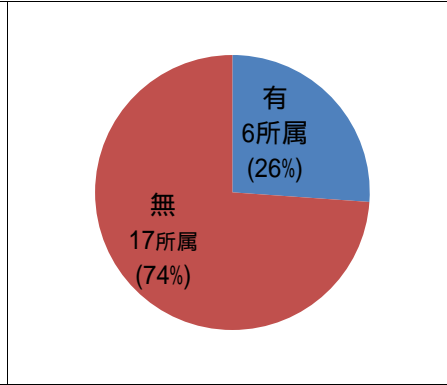
観光部



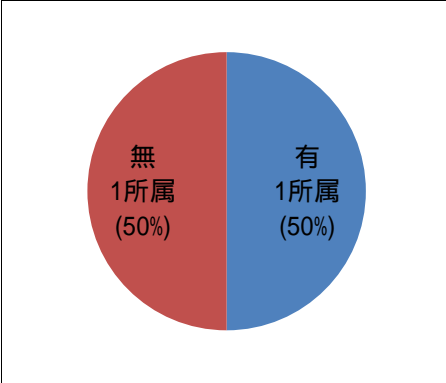
農政部



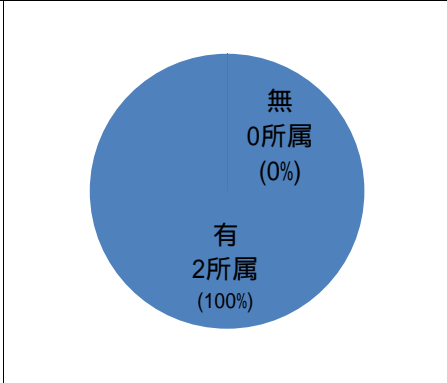
県土整備部



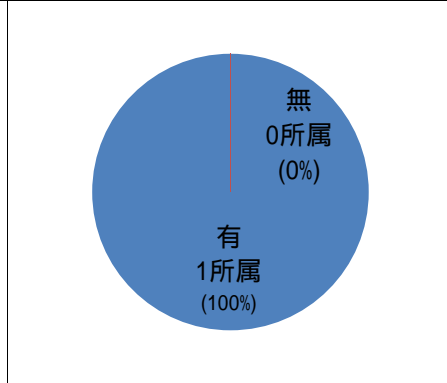
出納局



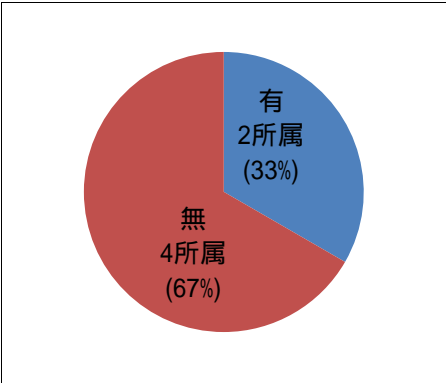
各委員会



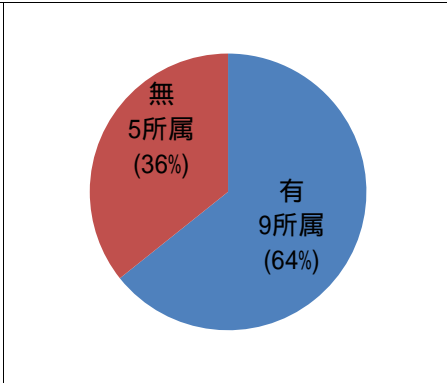
議会事務局



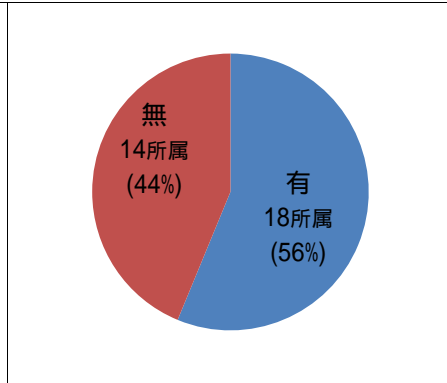
企業局



教育委員会



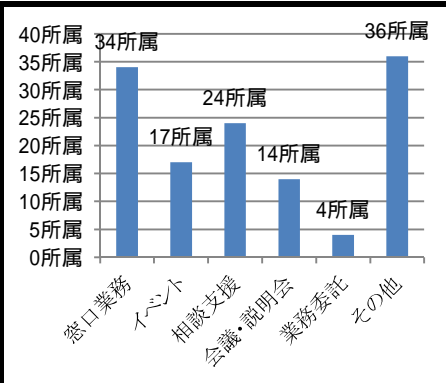
県立学校



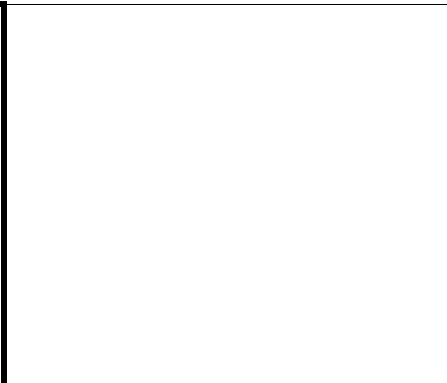
(2) 障害者等と関係する業務の内容

障害者等と関係する業務の内容はどのようなものか、「事務手続き等窓口業務」「相談支援」「会議や説明会」「業務委託又は協働」「その他」の選択肢により確認した。

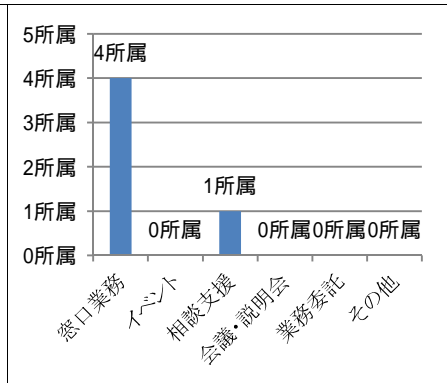
全体



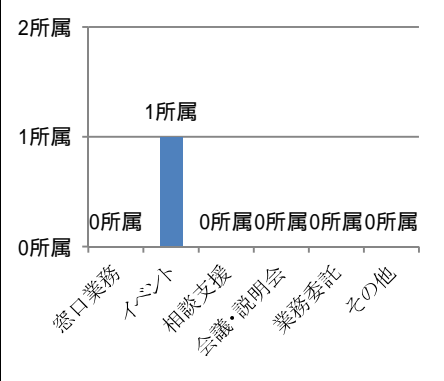
知事政策局



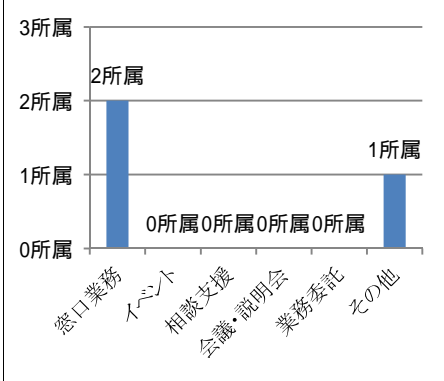
企画県民部



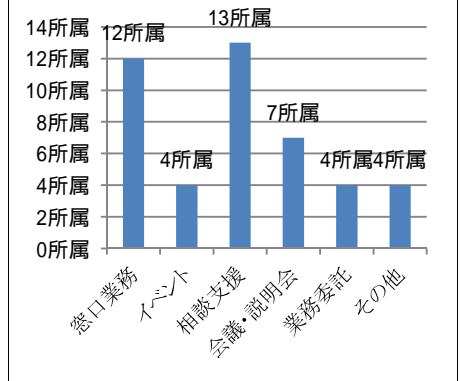
リニア交通局



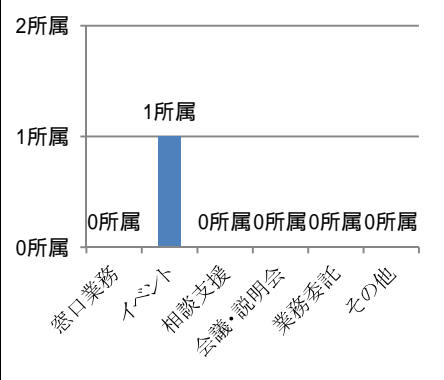
総務部



福祉保健部



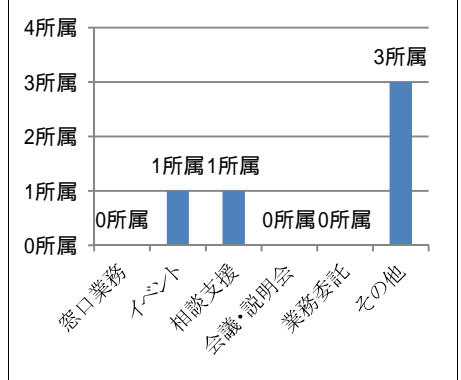
森林環境部



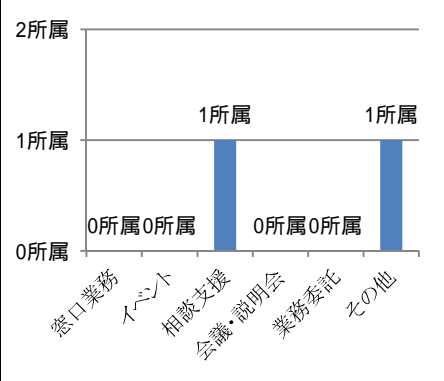
エネルギー局



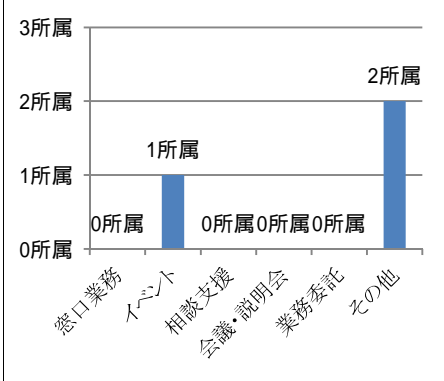
産業労働部



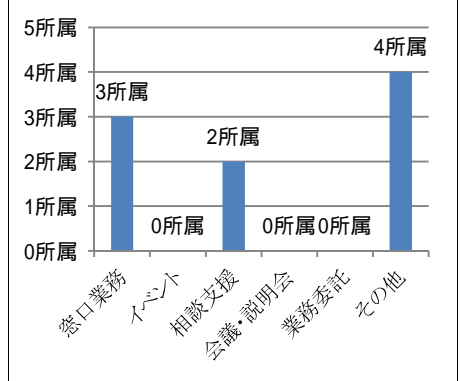
観光部



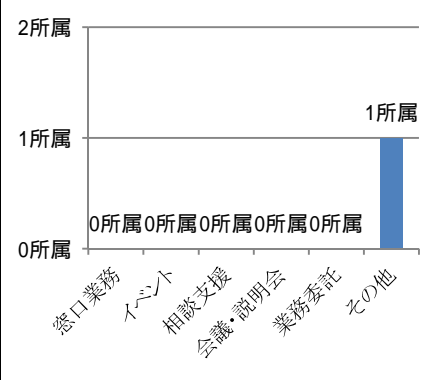
農政部



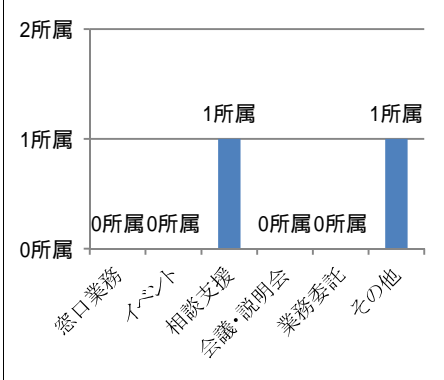
県土整備部



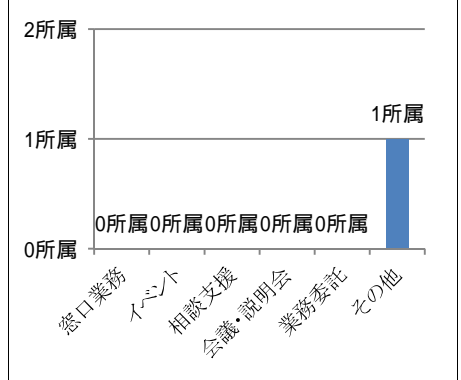
出納局



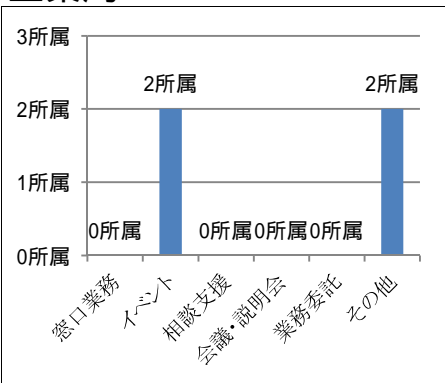
各委員会



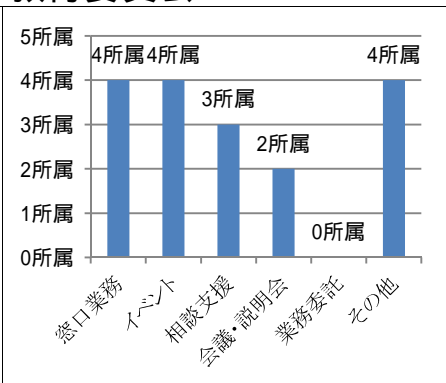
議会事務局



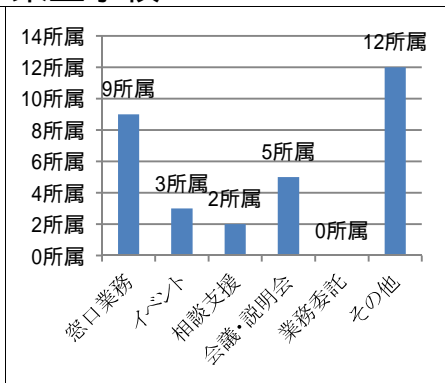
企業局



教育委員会

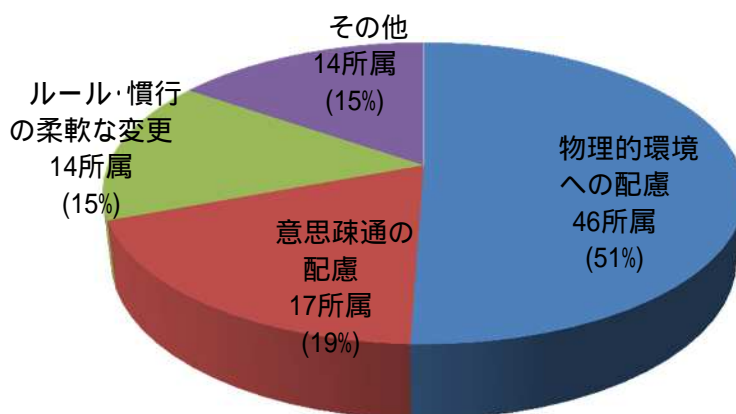


県立学校



(3) 合理的配慮の分類

障害者への合理的な配慮や建物のバリアフリーなどについて、対応していること、対応する必要があることを自由記載していただいた。内容については次のとおり分類できた。



物理的環境への配慮
【例】 スロープや点字ブロックの設置、車いす利用者の座席確保、マンパワーによる補助、目的の場所までの案内、休憩スペースの確保、室温調節 など

意思疎通の配慮
【例】 筆談・読み上げ・拡大文字・手話・点字でのコミュニケーション、電子データの提供、絵カード、代筆による記入、丁寧・繰り返しの説明 など

ルール・慣行の柔軟な変更
【例】 手続きの順序の入れ替え、別室での手続き、乗降場所の変更、別ルートからの入場 など

その他
【例】 職員への研修、職員の心づかい など